



2020年3月期 第3四半期決算報告

2020年2月6日

株式会社 **ニコン**

Q3	実績	売上収益：1,534億円	営業利益：40億円	
	前年比	売上収益：371億円減	営業利益：179億円減	
Q1-Q3	実績	売上収益：4,444億円	営業利益：215億円	
	前年比	売上収益：818億円減	営業利益：310億円減	
		- 映像事業	：ミラーレスの販売は着実に増えているが一眼レフの減収影響大きく減益 構造改革は計画通り進捗	
		- 精機事業	：FPD装置事業の減収影響大きく減収減益	
	- ヘルスケア事業	：網膜画像診断機器が堅調に推移し増収、赤字幅も計画通り縮小		
	- 産業機器・その他	：顧客の設備投資抑制の影響により減収減益		

注：本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨ててあります

2020年3月期 Q3：連結売上収益・損益



単位：億円	19年3月期 Q3実績	20年3月期 Q3実績	前年比
売上収益	1,905	1,534	▲371
営業利益	219	40	▲179
営業利益率	11.5%	2.6%	
税引前利益	232	58	▲174
税引前利益率	12.2%	3.8%	
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	179	39	▲140
当期利益率	9.4%	2.5%	
FCF	169	8	▲161
為替：USDドル	113円	109円	売上収益への影響 ▲50
ユーロ	129円	120円	営業利益への影響 ▲16

2020年3月期 Q3：セグメント別業績



単位：億円		19年3月期 Q3実績	20年3月期 Q3実績	前年比
映像事業	売上収益	905	700	▲23%
	営業利益	86	▲8	▲94億円
精機事業	売上収益	647	515	▲20%
	営業利益	174	104	▲70億円
ヘルスケア事業	売上収益	163	165	+1%
	営業利益	▲2	▲4	▲2億円
産業機器・その他	売上収益	190	155	▲18%
	営業利益	21	12	▲9億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—
	営業利益	▲60	▲63	▲3億円
連結	売上収益	1,905	1,534	▲19%
	営業利益	219	40	▲179億円

2020年3月期 Q1-Q3：連結売上収益・損益



単位：億円	19年3月期 Q1-Q3実績	20年3月期 Q1-Q3実績	前年比
売上収益	5,262	4,444	▲818
営業利益	525	215	▲310
営業利益率	10.0%	4.8%	
税引前利益	570	259	▲311
税引前利益率	10.8%	5.8%	
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	407	202	▲205
当期利益率	7.7%	4.5%	
FCF	481	47	▲434
為替：USDドル	111円	109円	売上収益への影響 ▲119
ユーロ	129円	121円	営業利益への影響 ▲38

FCFは前年比、当期利益の減少に加え、国内協力会社への支払条件変更等により減少

2020年3月期 Q1-Q3 : セグメント別業績



単位：億円		19年3月期 Q1-Q3実績	20年3月期 Q1-Q3実績	前年比
映像事業	売上収益	2,414	1,890	▲22%
	営業利益	218 (222)	12 (20)	▲206億円
精機事業	売上収益	1,863	1,666	▲11%
	営業利益	472 (472)	358 (358)	▲114億円
ヘルスケア事業	売上収益	457	465	+2%
	営業利益	▲25 (▲25)	▲16 (▲16)	+9億円
産業機器・その他	売上収益	527	422	▲20%
	営業利益	48 (56)	36 (36)	▲12億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	-	-	-
	営業利益	▲188 (▲188)	▲174 (▲157)	+14億円
連結	売上収益	5,262	4,444	▲16%
	営業利益	525 (538)	215 (241)	▲310億円

各セグメントに配賦されない全社損益には遊休地売却益38億円、構造改革関連費用▲17億円を含む

注：営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値、各セグメントに配賦されない全社損益には、19年3月期に3億円、20年3月期に▲18億円のセグメント間取引消去を含む

2020年3月期 Q3：映像事業



単位：億円	19年3月期		20年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	905	2,414	700	1,890	▲205	▲524
営業利益	86	218	▲8	12	▲94	▲206
営業利益率	9.5%	9.0%	▲1.1%	0.6%		
レンズ交換式 デジタルカメラ	64万台	171万台	58万台	138万台	▲6万台	▲33万台
交換レンズ	102万本	267万本	95万本	226万本	▲7万本	▲41万本
コンパクト デジタルカメラ	45万台	130万台	23万台	73万台	▲22万台	▲57万台

Q3前年比：販売台数減、レンズ交換式カメラの製品ミックス変化による平均単価低下、新製品の初期費負担増加等が重なった為、大幅に減収減益

ミラーレスカメラは昨年11月に発売した「Z 50」の効果もあり、売上・販売台数ともに増加
構造改革は計画通り進捗、販売拠点や生産拠点の最適化に関連した費用を8億円計上

2020年3月期 Q3：精機事業



単位：億円	19年3月期		20年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	647	1,863	515	1,666	▲132	▲197
営業利益	174	472	104	358	▲70	▲114
営業利益率	26.9%	25.3%	20.2%	21.5%		
FPD露光装置	18台	54台	6台	24台	▲12台	▲30台
半導体露光装置 新品／中古	4/2台	12/11台	5/5台	19/9台	+1/+3台	+7/▲2台

Q3前年比： FPD露光装置は、当社顧客の6・8世代パネル向け設備投資一巡の影響を受け、販売台数が大幅に減少。半導体露光装置は新品・中古ともに販売台数が増加
事業全体としては、FPD装置事業のマイナス影響が大きく、減収減益

2020年3月期 Q3：ヘルスケア事業



単位：億円	19年3月期		20年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	163	457	165	465	+2	+8
営業利益	▲2	▲25	▲4	▲16	▲2	+9
営業利益率	▲1.2%	▲5.5%	▲2.4%	▲3.4%		

Q3前年比：生物顕微鏡・網膜画像診断機器ともに、Q3の売上・利益は前年とほぼ変わらず堅調に推移
 Q3累計では網膜画像診断機器が過去最高の売上を達成し、事業全体では増収
 投資テーマ絞り込み等により赤字は縮小

2020年3月期 Q3：産業機器・その他



単位：億円	19年3月期		20年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	190	527	155	422	▲35	▲105
営業利益	21	48	12	36	▲9	▲12
営業利益率	11.1%	9.1%	7.7%	8.5%		

Q3前年比：産業機器・その他事業ともに、上期と同様に顧客の設備投資抑制等の影響により大幅に減収売上は計画を下回って推移しているが、利益は経費抑制等によりほぼ計画通り進捗

1. 2020年3月期 第3四半期決算報告

2. 2020年3月期 通期見通し

2020年3月期 通期見通し：ポイント



売上収益 6,200億円（前回予想と同じ）

営業利益 200億円（前回予想と同じ）

当期利益 170億円（前回予想と同じ）

株主還元

・年間配当金：60円、中間配当金30円（前回予想、前期と同じ）

・自己株式取得状況：

2019年11月～2020年1月で約1,400万株取得（対発行済株式総数 約3.5%）

これまでの取得価額は上限300億円に対して約203億円（進捗率 約68%）

今回取得分は当期中に全株消却方針

注：上記業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大による今後の影響未反映
自己株式取得は2020年3月期第1四半期に実施した分を含め通期累計取得済株数は約2,070万株、取得価額の総額は約303億円

2020年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	19年3月期 実績	前回予想 (11/7)	今回予想 (2/6)	前年比	前回予想比
売上収益	7,086	6,200	6,200	▲886	±0
営業利益	826	200	200	▲626	±0
営業利益率	11.7%	3.2%	3.2%		
税引前利益	879	230	230	▲649	±0
税引前利益率	12.4%	3.7%	3.7%		
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	665	170	170	▲495	±0
当期利益率	9.4%	2.7%	2.7%		
EPS	167.86円	43.26円	43.26円	▲124.6円	±0
年間配当	60円	60円	60円	±0	±0
FCF	435	150	150	▲285	±0
為替：USDドル	111円	107円	108円	売上収益への予想影響 ▲158 +27	
ユーロ	128円	121円	121円	営業利益への予想影響 ▲47 +2	

注：EPS（基本的1株当たり当期利益）＝当期利益÷期中平均株式数（19年3月期実績の約3.96億株、今回予想のみ20年3月期末見込株数との平均約3.93億株で計算）

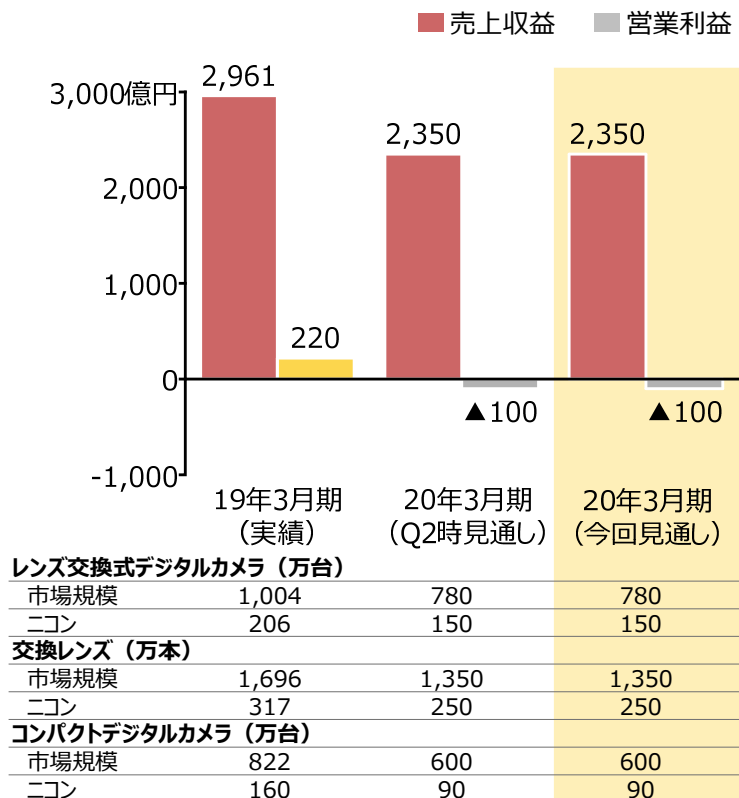
2020年3月期 通期見通し：セグメント別業績



単位：億円		19年3月期 実績	前回予想 (11/7)	今回予想 (2/6)	前年比	前回予想比
映像事業	売上収益	2,961	2,350	2,350	▲20.6%	±0%
	営業利益	220 (226)	▲100 (▲50)	▲100 (▲50)	▲320億円	±0億円
精機事業	売上収益	2,745	2,550	2,550	▲7.1%	±0%
	営業利益	817 (817)	510 (510)	510 (510)	▲307億円	±0億円
ヘルスケア事業	売上収益	654	650	650	▲0.6%	±0%
	営業利益	▲19 (▲19)	▲10 (▲10)	▲10 (▲10)	+9億円	±0億円
産業機器・その他	売上収益	725	650	650	▲10.3%	±0%
	営業利益	69 (75)	40 (40)	40 (40)	▲29億円	±0億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	-	-	-	-	-
	営業利益	▲261 (▲256)	▲240 (▲223)	▲240 (▲223)	+21億円	±0億円
連結	売上収益	7,086	6,200	6,200	▲12.5%	±0%
	営業利益	826 (844)	200 (267)	200 (267)	▲626億円	±0億円

注：営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値
各セグメントに配賦されない全社損益には、19年3月期に6億円、20年3月期に▲18億円のセグメント間取引消去を含む

2020年3月期 通期見通し：映像事業

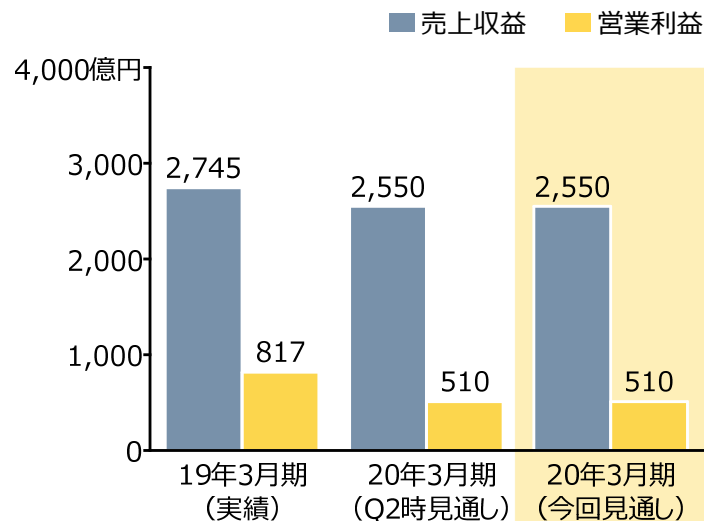


● 売上収益：前回予想据え置き 前年比611億円減収

- Q4もカメラ市場の縮小は継続。販売台数は前回予想と変わらず
- 前年比、ミラーレスカメラとZマウントレンズは増収だが、一眼レフカメラやコンパクトカメラの減収影響大きい

● 営業利益：前回予想据え置き、前年比320億円減益

- 構造改革関連費用を50億円計上予定のため、一時費用を除くと今期は50億円の営業赤字の見込み
- 前年比、減収による減益影響に加え、ミラーレスラインアップ拡充に向けた投資負担が大きく、販売経費や研究開発費等削減に努めるも大幅に減益



● 売上収益：前回予想据え置き 前年比195億円減収

- FPD：各世代装置の販売台数は前回予想と変わらず前年比、高単価の10.5世代装置台数は増えるが、6・8世代装置台数減の影響大きく減収
- 半導体：新品・中古装置ともに販売台数は前回予想と変わらず前年比、新品装置の台数増により増収

● 営業利益：前回予想据え置き 前年比307億円減益

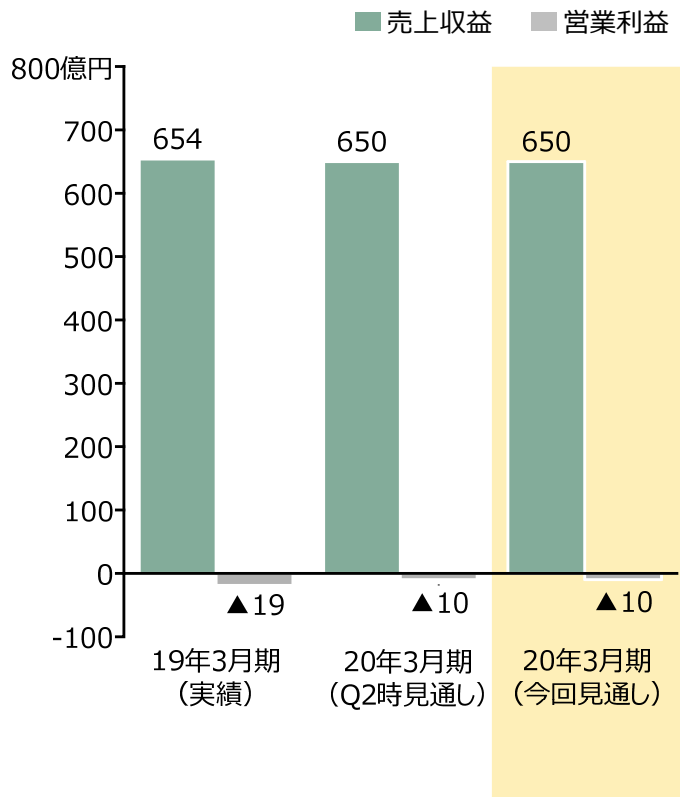
- 2019年3月期営業利益は訴訟和解の一時利益約150億円を含んでおり、これを除くと前年比約157億円減益見通し
- 前年比、FPDの減益を半導体の増益で一部挽回

FPD露光装置販売台数 (台)

市場規模 (CY18/19)	142	90	90
ニコン	70	32	32

半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

市場規模 (CY18/19)	300	250	280
ニコン	21/20	30/11	30/11

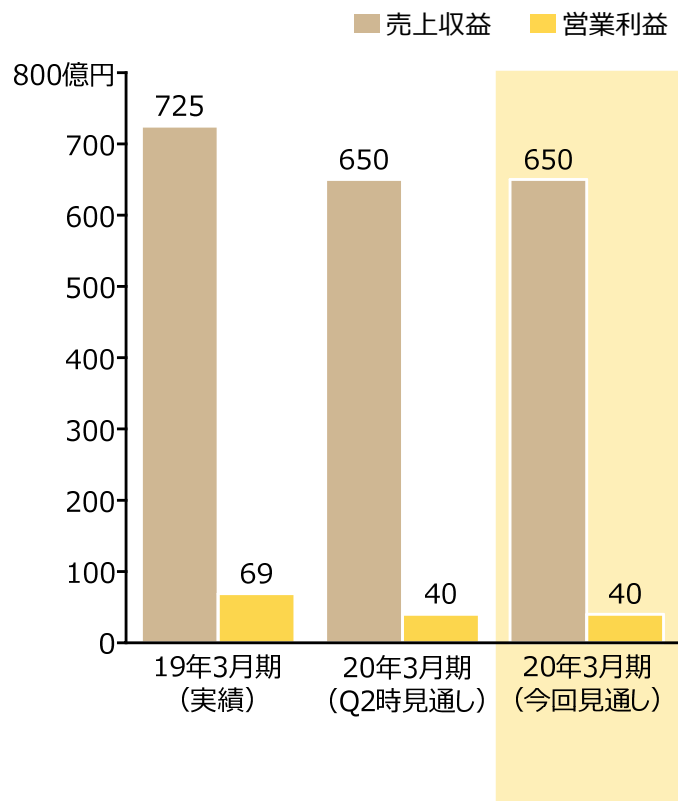


● 売上収益：前回予想据え置き、前年比4億円減収

- 生物顕微鏡・網膜画像診断機器ともに堅調な計画に変更なし
為替のマイナス影響により前年比ではほぼ横ばい

● 営業利益：前回予想据え置き、前年比9億円改善

- 再生医療分野および眼科診断分野での投資テーマを
絞り込み赤字は半減、来期黒字化を目指す計画に変更なし



● 売上収益：前回予想据え置き 前年比75億円減収

- 前年比、中国等アジア顧客を中心に設備投資抑制の影響を受けて減収
- 産業機器：非接触3次元測定機のシェアは着実に拡大

● 営業利益：前回予想据え置き 前年比29億円減益

- 減収による減益影響を最小限にとどめるため、原価改善や経費抑制をはかる
- コンポーネント事業等、将来の成長に向けた投資は継続

参考資料

2020年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	17年3月期	18年3月期	19年3月期			20年3月期見通し		
	通期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	7,492	7,170	3,357	3,729	7,086	2,910	3,290	6,200
営業利益	7	562	306	520	826	175	25	200
営業利益率	0.1%	7.8%	9.1%	13.9%	11.7%	6.0%	0.8%	3.2%
税引前利益	30	562	338	541	879	201	29	230
税引前利益率	0.4%	7.8%	10.1%	14.5%	12.4%	6.9%	0.9%	3.7%
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	39	347	228	437	665	163	7	170
当期利益率	0.5%	4.8%	6.8%	11.7%	9.4%	5.6%	0.2%	2.7%
ROE	0.7%	6.3%	11.2%			3%		
FCF	566	902	435			150		
為替：USドル	108円	111円	110円	112円	111円	109円	107円	108円
ユーロ	119円	130円	130円	127円	128円	121円	120円	121円

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期の売上収益は83億円の控除後の金額

2020年3月期 通期見通し：セグメント別業績



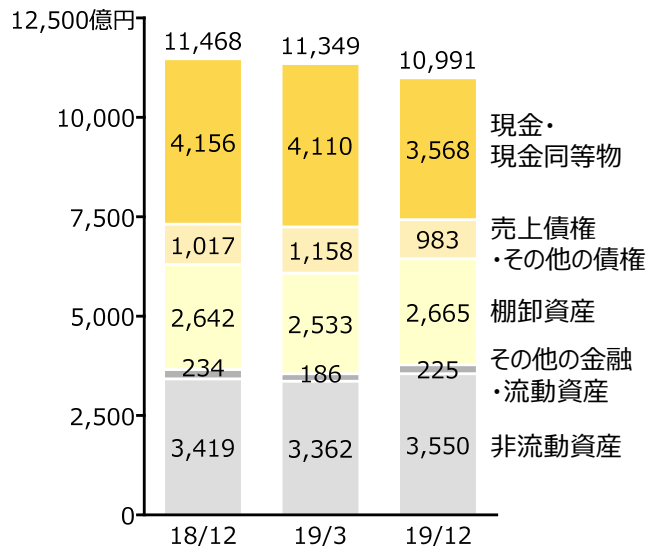
単位：億円		17年3月期	18年3月期	19年3月期			20年3月期見通し		
		通期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	3,830	3,607	1,509	1,452	2,961	1,190	1,160	2,350
	営業利益	171 (281)	302 (360)	132 (136)	88 (90)	220 (226)	20 (22)	▲120 (▲72)	▲100 (▲50)
精機事業	売上収益	2,480	2,263	1,216	1,529	2,745	1,151	1,399	2,550
	営業利益	134 (481)	533 (533)	298 (298)	519 (519)	817 (817)	254 (254)	256 (256)	510 (510)
ヘルスケア事業	売上収益	557	568	294	360	654	300	350	650
	営業利益	▲6 (▲1)	▲32 (▲32)	▲23 (▲23)	4 (4)	▲19 (▲19)	▲12 (▲12)	2 (2)	▲10 (▲10)
産業機器・その他	売上収益	624	732	337	388	725	267	383	650
	営業利益	37 (55)	50 (78)	27 (35)	42 (40)	69 (75)	24 (24)	16 (16)	40 (40)
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	▲328 (▲275)	▲291 (▲291)	▲128 (▲128)	▲133 (▲128)	▲261 (▲256)	▲111 (▲94)	▲129 (▲129)	▲240 (▲223)
連結	売上収益	7,492	7,170	3,357	3,729	7,086	2,910	3,290	6,200
	営業利益	7 (541)	562 (649)	306 (318)	520 (526)	826 (844)	175 (194)	25 (73)	200 (267)

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期の売上収益は83億円の控除後の金額
営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

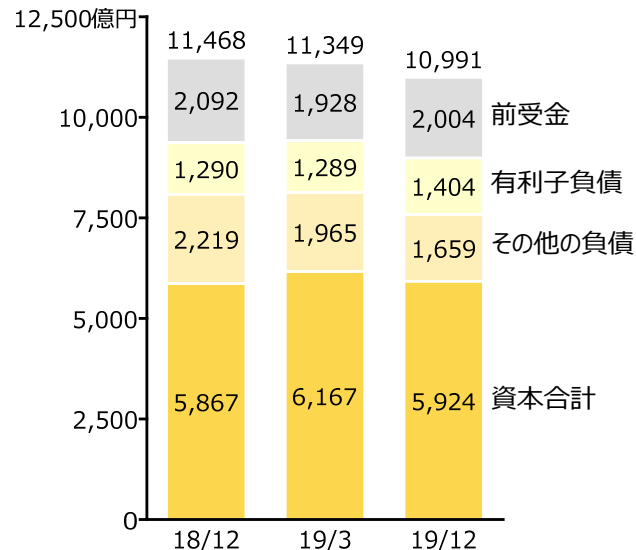
2020年3月期 Q3：財政状態計算書



資産



負債・資本



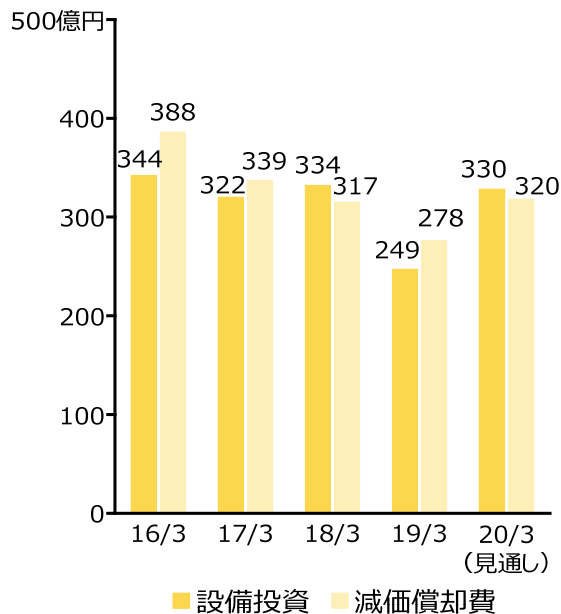
自己資本比率 51.1% 54.3% 53.8%

注：19年12月末の有利子負債の内訳は社債299億円、その他借入金等1,105億円（IFRS第16号適用により、2020年3月期首リース負債が約170億円増加）
自己資本比率＝親会社所有者帰属持分比率。現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

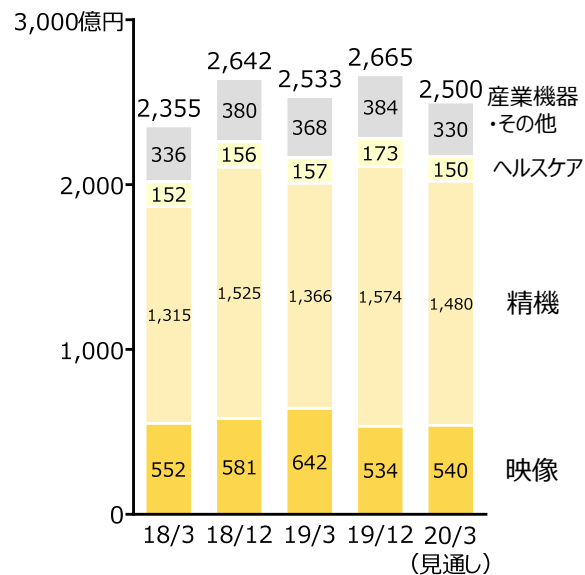
2020年3月期 通期見通し：設備投資・減価償却費・棚卸資産



設備投資・減価償却費



棚卸資産



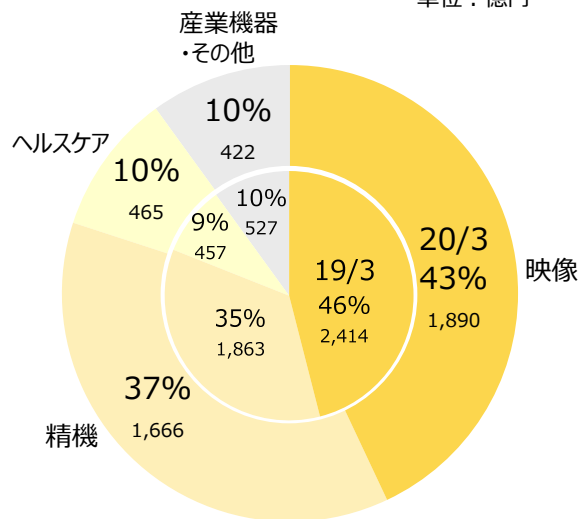
注：「設備投資」は2020年3月期には、IFRS第16号適用によりリース資産約30億円を含めて表示
 「減価償却費」の2018年3月期以降は仕掛開発費の償却も含めて表示、2020年3月期には上記と同様にリース資産約40億円を含めて表示

2020年3月期 Q1-Q3：売上収益内訳



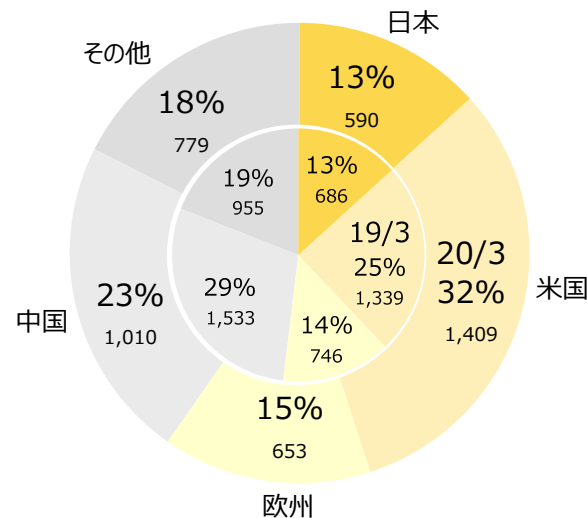
セグメント別内訳

単位：億円



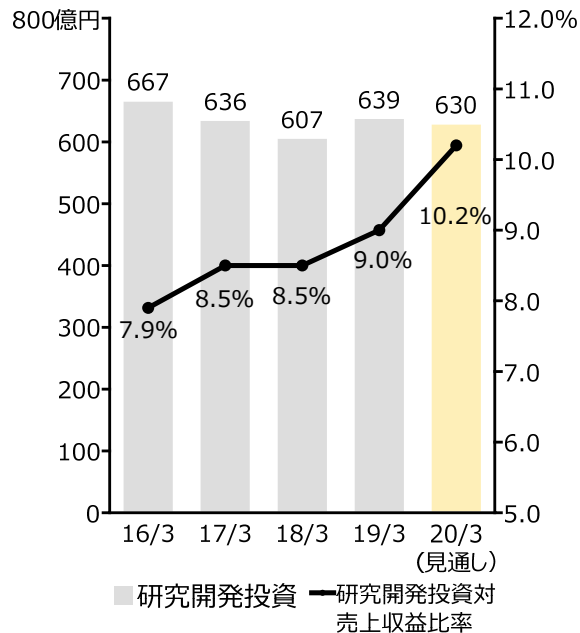
地域別内訳

単位：億円



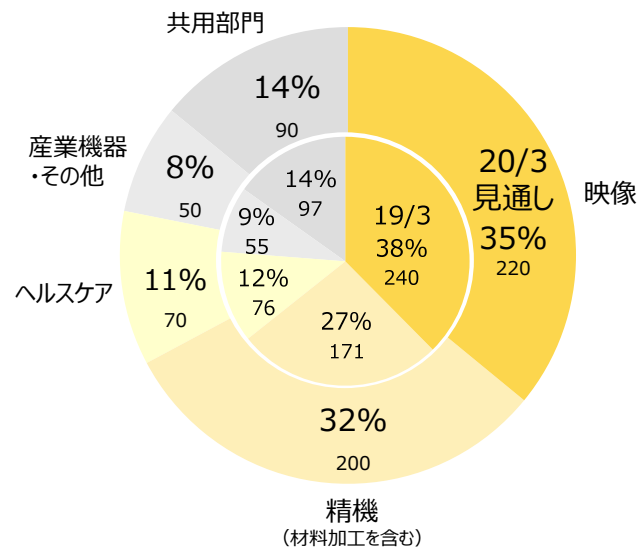
注： 外円は「2020年3月期Q3累計売上収益4,444億円」の内訳、内円は「2019年3月期Q3累計売上収益5,262億円」の内訳を表示

研究開発投資



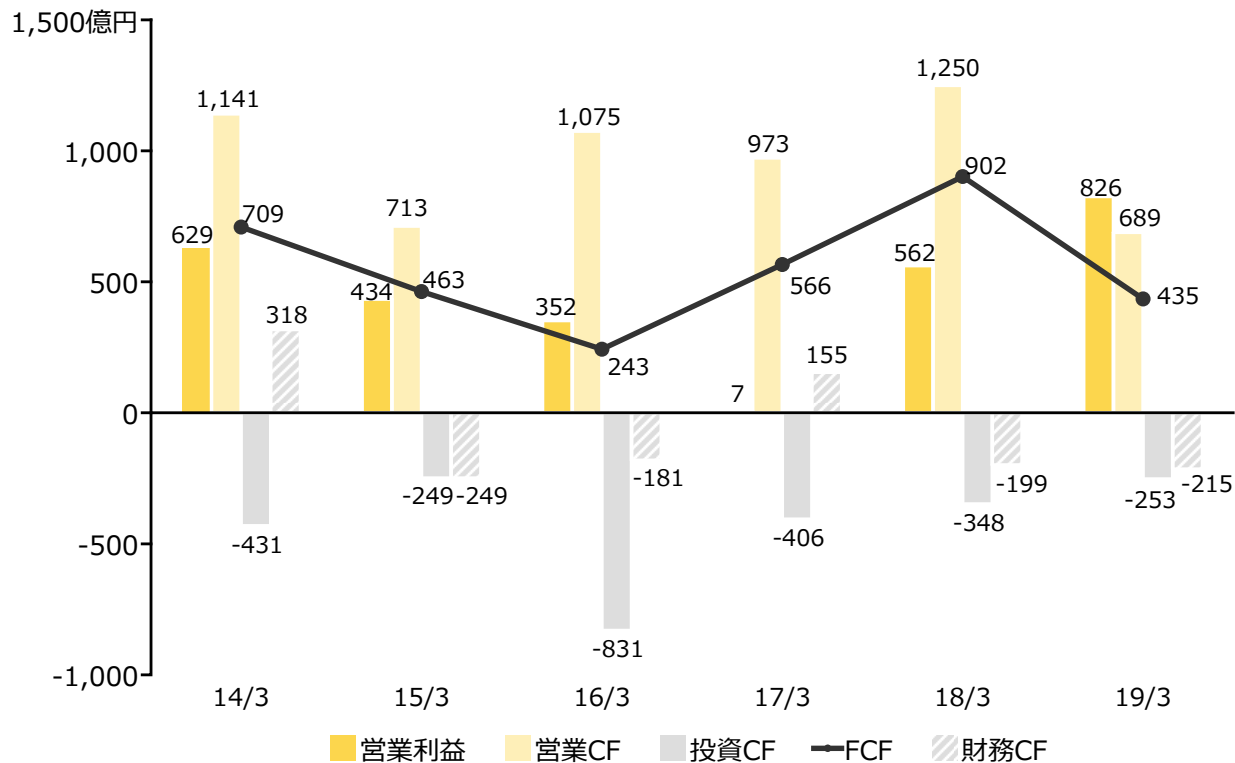
研究開発投資内訳

単位：億円



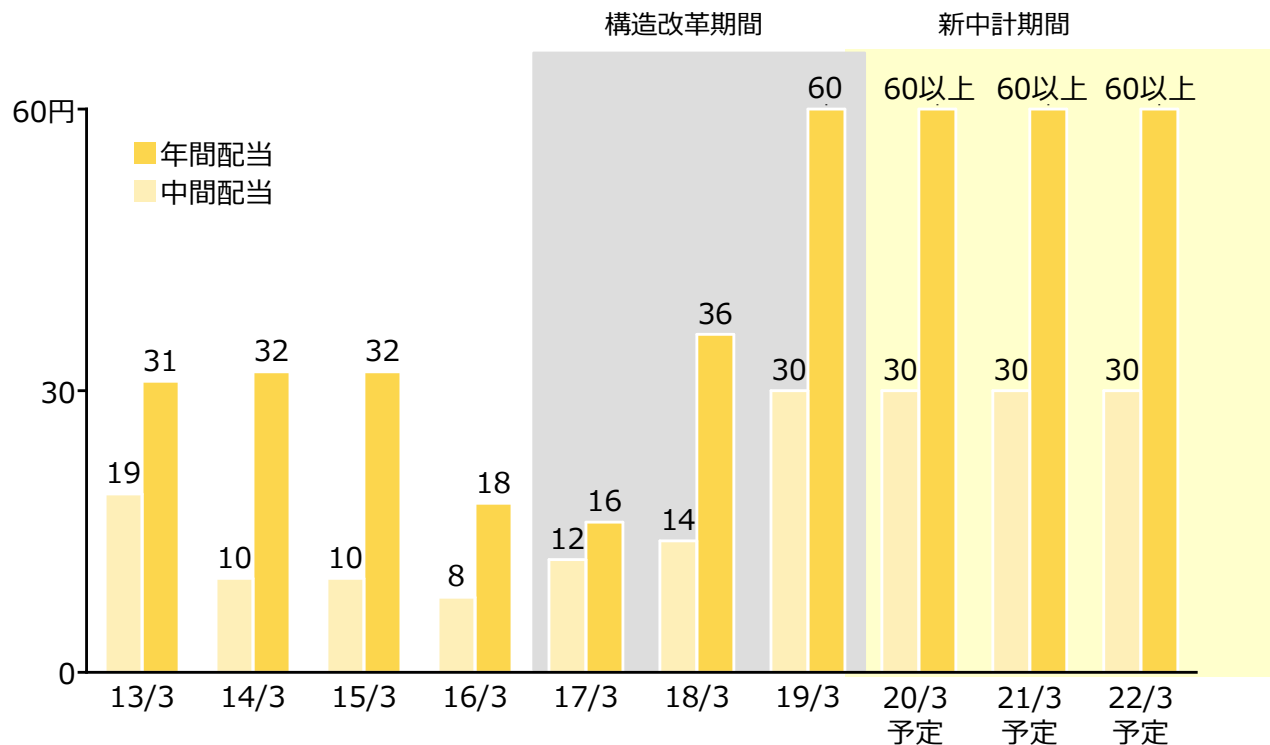
注：「研究開発投資」には、2018年3月期以降に行っている開発投資の一部資産化も含めて表示

キャッシュフロー推移



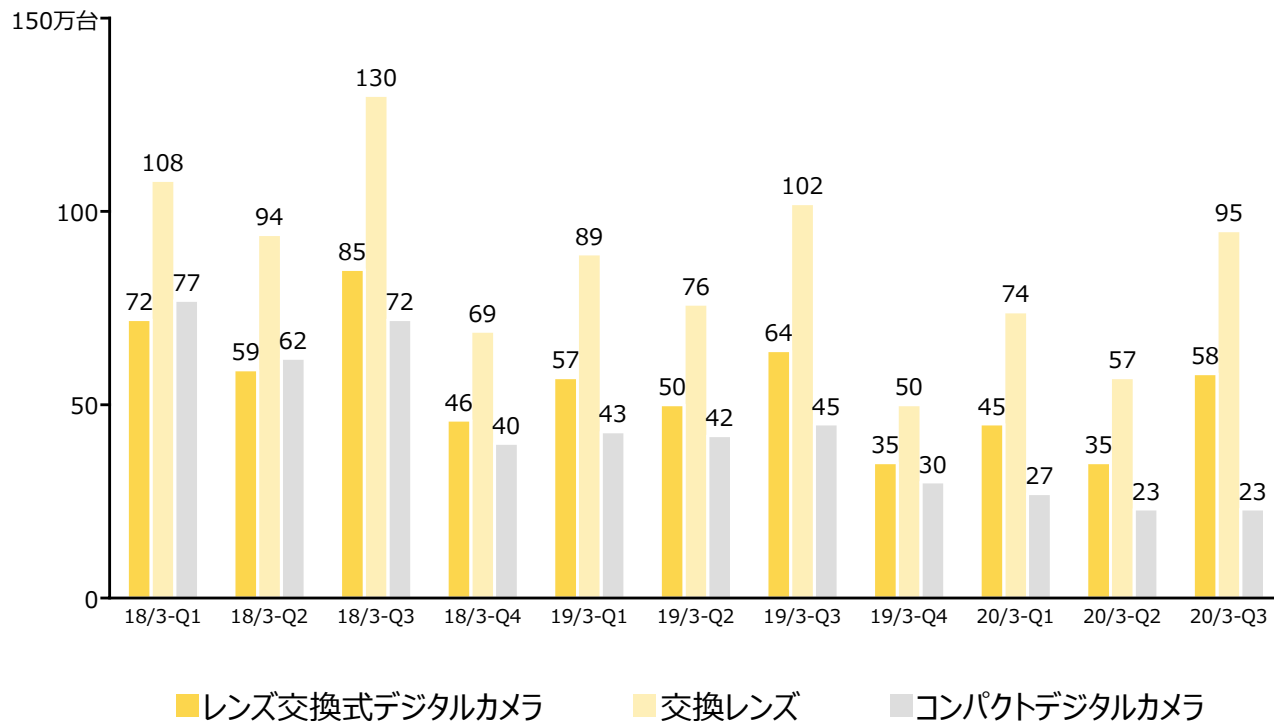
注: FCF (フリーキャッシュフロー) = 営業CF + 投資CF、2015年3月期以前は日本基準、2016年3月期以降は国際会計基準 (IFRS) で表示
 FCF + 財務CF + 現金・現金同等物に係る換算差額 = 現金・現預金同等物期末残高増減

株主還元推移

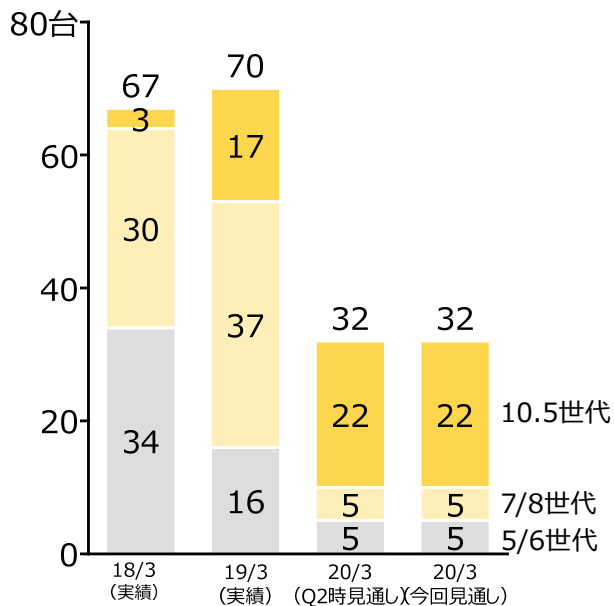


注：2020年3月期第1四半期に約100億円の自社株買いを実施。さらに2020年3月期第3四半期～第4四半期に約300億円の自社株買いを実施予定

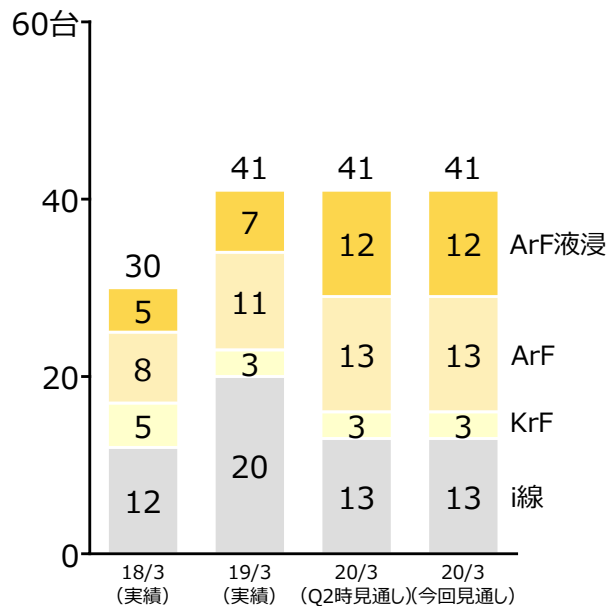
製品カテゴリー別内訳



FPD露光装置世代別内訳

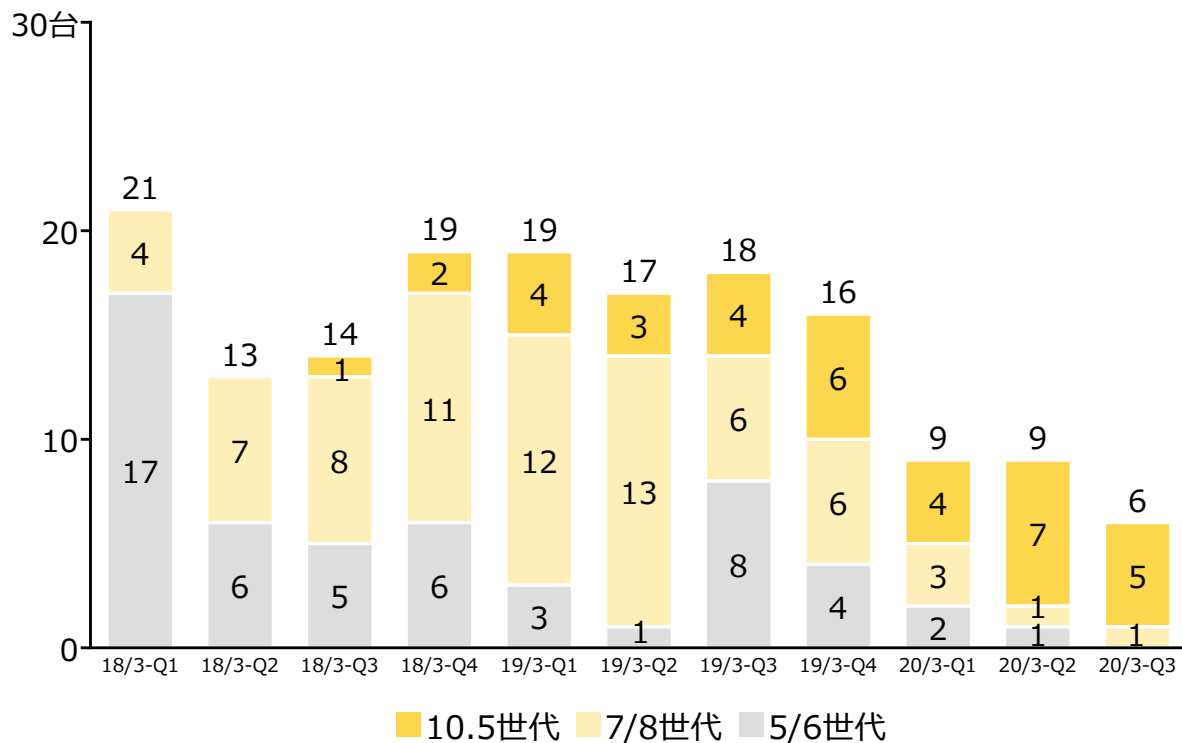


半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)

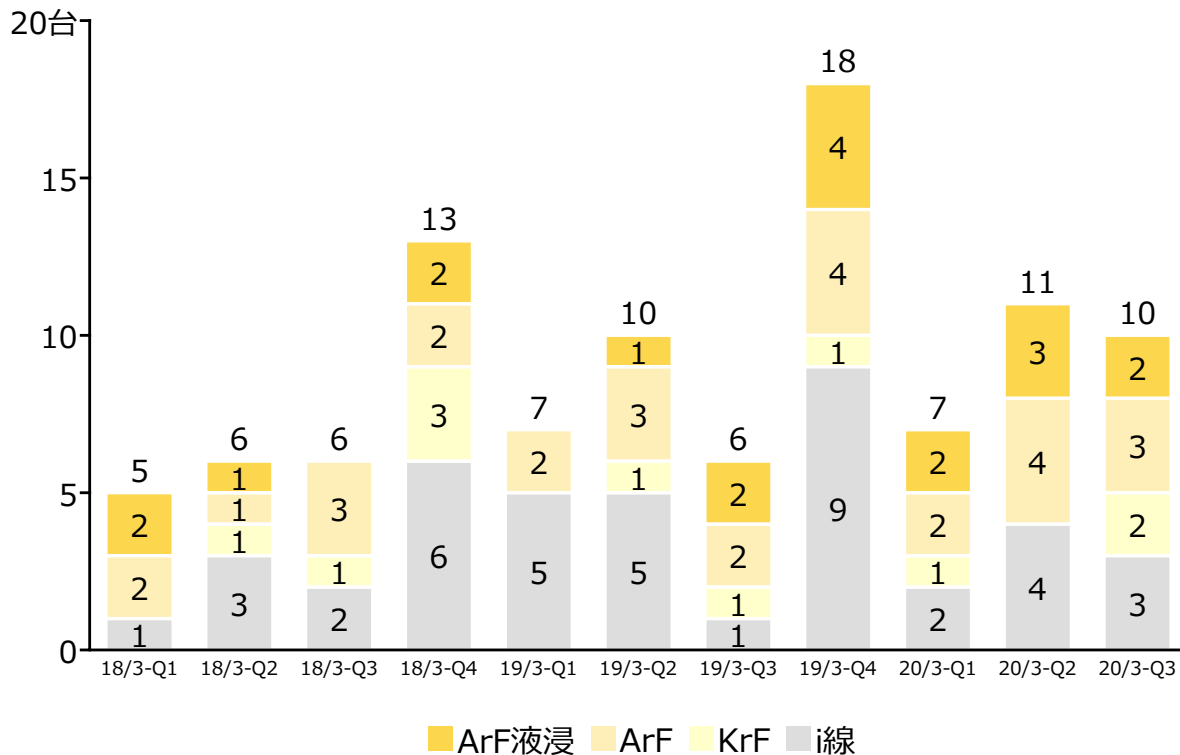


注：半導体露光装置の新品の台数は、2018年3月期は17台、2019年3月期は21台、2020年3月期は30台（予定）

FPD露光装置世代別内訳



半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)



2020年3月期 通期見通し：為替の影響



	為替レート	1円の変動による影響額	
	20年3月期 Q4前提	売上収益 Q4	営業利益 Q4
USドル	105円	約6億円	約1億円
ユーロ	120円	約2億円	約1億円

注：上記は新興国通貨がUSドル、ユーロに連動することを想定

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的风险および不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください

